

那覇市医師会ニュース

発行 那覇市医師会
責任者 会長 山城 千秋

◇◇ 那覇市長への陳情（新型コロナウイルス）について ◇◇

副会長 玉井 修

先日(2/20・木)、当会ホールにて「新型コロナウイルス感染症に関する在宅関連会議」を開催しました。ご多忙の中参加されたのは下記の方々です。(敬称省略)

- ①仲宗根正(那覇市保健所 参事)
- ②知花なおみ(那覇市立病院 呼吸器内科部長)
- ③高野大秋(那覇市社会福祉協議会 在宅福祉課長)
- ④島勝司(通所介護ネットワークなは 会長)
- ⑤與那嶺康(沖縄県有料老人ホーム・高齢者住宅協議会 理事長)
- ⑥定木麻佐美(沖縄県認知症グループホーム協会 会長)
- ⑦新城明彦・⑧上原善周(那覇市役所 ちゃーがんじゅう課 施設グループ)
- ⑨執行部：山城会長、友利副会長、玉井、田名常任理事、喜納理事、長嶺理事、嘉数理事
- ⑩事務局：上原局長、高江洲係長

最初に山城会長より「新型コロナウイルスの高リスク者に高齢者は一番に挙げられている。日頃、高齢者を対象としている施設においてどのような対策をとっているのか、懸念するところなど忌憚のないご意見を頂きたい。」と挨拶後、多くの発言をいただきました。

- 協議事項1. 新型コロナウイルス感染症対策に関する那覇市の取り組みについて
- 協議事項2. 高齢者介護施設(有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅、グループホーム)での対応について

○ 現在、マスクが入手できない。マスク不足で感染が拡大することを危惧している。今月中に枯渇する。

○ 現場はマスク不足で困っている。那覇市医師会から那覇市長に陳情書を出して頂きたい。

同会議で「那覇市医師会から那覇市長に陳情して欲しい」との要望を受けて、昨日、那覇市長に下記内容(一部抜粋)で陳情してきましたのでご報告致します。

令和2年2月26日(水)

那覇市長 城間 幹子 様

一般社団法人 那覇市医師会
会長 山城 千秋
要 望 書

市場からマスクがなくなり医療機関や高齢者施設等で苦慮しております。今回の新型コロナウイルスは高齢者及び慢性疾患「糖尿病、心臓病、高血圧、呼吸器疾患(慢性閉塞性肺疾患)」の方は感染した場合に重篤化する可能性が高いといわれております。各施設で常備しているマスクの在庫数が少なく、入荷の見通しが立っておりません。これらの施設で一人でも感染者が発生すると大きな問題や深刻な出来事に発展致します。

つきましては、那覇市内の医療機関や高齢者介護施設の感染対策の観点から、具体策として、現在、那覇市に防災用として備蓄しているマスクを提供して頂きますよう強く要望します。

記

- 1. 新型コロナウイルス感染予防として、那覇市内の医療機関(病院・診療所・歯科)や高齢者介護施設(有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅、グループホーム等)のマスクの供給確保にご尽力いただきますよう要望します。
- 以上



要望書を読み上げる山城会長



↑ 左から玉城理事、玉井副会長、山城会長、城間市長、渡口政策統括調整監、長嶺健康部長